

## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 年 月 日

事業所名：

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	集団訓練・個別訓練・静養室等、各活動に合わせた部屋を設置している	人数の多い日は、もう少し広いといいなと思う。どのように、スペースがあるのか分からない。	以前より、部屋数を増やしなるべく多い人数日でも活動しやすいように対応している
	2 職員の適切な配置	職員は基準以上の配置人数となっている	人数の多い日等、手の足りていない時とかあるのが分からない。	長期休暇や土曜日などは、職員数をふやしている
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	個人に合わせカード(写真・イラスト・シンボルマーク等)で表示している 室内は構造化されバリアフリーになっている		引き続き、特性に合わせた情報伝達等を行う
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	空気清浄機・転倒防止マット・クッション等の設置をし環境保全を図っている 不備があれば、すぐに修繕するなどの対応をしている	中を見たことがない	引き続き、施設の清掃・整理整頓を行う 常時、保護者見学も受付する
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	職員全員で、支援前・支援後に利用児に対する打ち合わせを行っている		毎月のケース会議やその都度、問題点があれば職員全員で取り組んでいる事を継続して行く
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	未実施		今後実施にむけ検討していく
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	関係機関や外部研修会へ参加している		今後も、積極的に研修会に参加する
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	常時サービス提供時に利用児の様子観察、アセスメントし、保護者との面談や学校訪問・関係機関との会議などで情報を得て計画を作成している		継続していく
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの特性に応じて、集団活動と個別活動を組み合わせている。支援内容は、個別支援計画表に明記している	しっかり分析して、課題を提供してくれている	個別支援計画の内容の変更や成果を保護者に伝える事を継続して行う
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個別支援計画表の内容を、保護者に詳しく説明している		現在、使用している支援計画の様式を必要に応じてガイドラインに沿うように検討中

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	職員全員が、子どもの特性や状況を共有・理解し支援計画に沿って実施している		適切な支援の実施に努める
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	個別活動は各担当者が、集団活動は職員全員で考え相談して決めている		必要性や目的を考えながら、今後も継続していく
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇の時期に合わせた活動内容を提供している 短時間・長時間でのスケジュールを作成している	いろんな事に、チャレンジさせてくれている	平日・祝日・長期休暇利用日の受け入れが、希望に添えるように調整していく事を継続する
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	個別支援計画に沿って、施設以外での活動をしたり季節に合わせた活動プログラムを導入している		プログラムの内容を保護者に説明し同意を得ている
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	必ず、支援の流れや内容を打ち合わせしている 学校での申し送りがあった場合は、職員全員が情報を共有するようにしている		継続して行く。情報共有に努める
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	毎回、振り返りを行い達成出来たことや反省・改善する事を話し、記録に残している		次回の支援に繋がるように、振り返りを継続する
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個人のケースに活動内容や様子を記載し、支援に繋げている 必要時は、排泄や睡眠時間の統計をとって支援にいかしている		今後も、保護者の協力を得て、より良い支援に繋げていく
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6ヵ月毎に、モニタリングを実施し支援の見直しをしている 必要があれば、その都度の見直しあり		職員で情報を共有し、協議しながら進める

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	児童発達支援管理責任者を主に、ケースに合わせて担当スタッフが同行		継続していく
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	保護者や医療関係からの情報を収集(サポートブック等)している		常に、状況を把握し継続していく
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	協力医療機関や主治医と連絡を取れる体制を整えている		継続して行く
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	円滑に移行出来るように、教員や福祉関係者とのケース会議や見学を受け入れている		関係機関と情報の共有に努める
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	要望があれば、情報提供をしている 同一事業所では円滑に行われている		個人情報の扱いに十分、配慮して継続していく
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	職員が専門機関の研修を受講している		今後も、研修の機会を設ける
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	野外活動などで、家族や兄弟が参加できる行事を計画して交流を図っている		交流できる機会を検討していく
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	毎年、商業施設で事業所全体の行事としてフェスタを開催し、各事業の紹介や催し物をしている。社会人や学生ボランティアの協力を頂いている		今後も、地域の理解と協力を得て継続していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用契約時に、重要事項説明書や運営規定を説明している。また、施設内掲示板や必要がある場合には紙面上に記載している		必要に応じて説明しているが、より理解して頂けるように継続していく
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	6カ月毎に、行っている。必要があればその都度、実施している		保護者の要望があれば、学校訪問等を継続していく
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	子どもの特性に合わせ、自宅や外出時等で使用するスケジュールや要求カード等を制作し、保護者にもカード支援を実施している		保護者と連絡を取り合う中で、子どもの対応や関わり方を伝える事を継続して行く
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	療育の様子を連絡帳に記入している。お迎え時等に、その日の様子や気づいた事・達成できたことなどを伝えている		継続していく
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	学校の担任に様子を伺ったり、担当者を含め職員全員でケース会議をしながら対応している	保護者の会がある	より相談しやすい環境作りをしていく
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者の会を、年2回開催している また、家族で参加する野外活動も行っている	あまり参加できていないが、保護者交流会を開いてくれている。会に参加していないので保護者同士の関係は分からない	保護者の会に、多くの方に参加して頂き連携を図れるようにしていきたい
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時に、苦情相談窓口を設けている事を説明している		保護者からの苦情や相談があった場合は、職員で会議を持ち、記録に残している事を継続して行く
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	意思の疎通や情報伝達がスムーズに行われるように視覚提示等をしている		子どもの特性や保護者に配慮し、意思の疎通や情報伝達ができるように工夫していく
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月、必要事項を記載しておたよりを発行している。年4回事業所全体のおたよりを発行している		おたよりが、分かりやすいように工夫をしていく
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報使用同意書を作成している 外部への提供は、同意が無い場合は行っていない		今後も、十分注意し取り扱う事に努めていく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルや感染症対応マニュアルは、専門職員により作成されている		緊急時の対応や感染対応については、再度職員の意識を確認し引き続き行う
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回、消防署などの指導を受け避難・防災訓練を実施している		避難・防災訓練を実施している事が、あまり保護者に周知されていないので、訓練を行う前後は伝えるように努める
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	研修会等があれば、参加できるように努めている		職員が、研修会などに参加できる機会を設けていく
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	利用児の様子を職員間で共有して対応しているため、パニックなどがあっても身体拘束をした事がない		やむを得ず身体拘束が必要な場合は、必ず保護者に同意を得て、詳細を記録に残すようにする
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食事の提供は無いがおやつの提供はあるので、保護者より情報があれば、職員全員で情報共有している		保護者との情報共有や子どもの様子等の情報収集に努める
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットだけではなく、支援前後に職員全員で情報共有している		継続していく